

SPODフォーラム2019全体アンケート集計結果

アンケート回答者数: 204名

回答率: 38.5% (2018: 36.95%, 2017: 41.5%)

回答期間: 9/18(水)～10/2(水)正午 ※フォーラム終了3週間後よりWEB入力にて実施

当日参加者数: 530名 (ポスターのみ参加者5名除く)

SPOD加盟校から: 313名

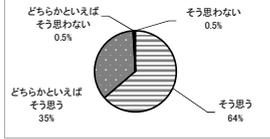
SPOD加盟校以外から: 217名

1. SPODフォーラムでの研修成果について

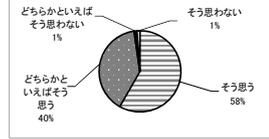
【SPODフォーラムは全体的に満足できる内容であった】

	度数	割合
① そう思う	130	63.7%
② どちらかといえばそう思う	72	35.3%
③ どちらかといえばそう思わない	1	0.5%
④ そう思わない	1	0.5%
計	204	100.0%
無回答	0	

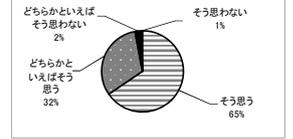
SPODフォーラム2019(愛媛大学開催)



SPODフォーラム2018(香川大学開催)

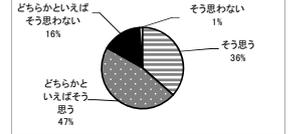
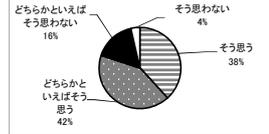
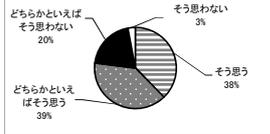


SPODフォーラム2017(徳島大学開催)



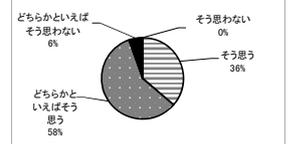
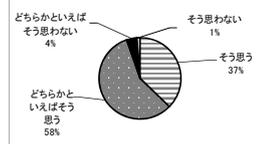
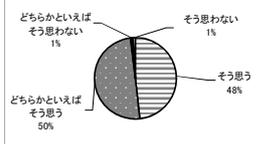
【所属組織を越えて人脈を広げることができた】

	度数	割合
① そう思う	77	37.8%
② どちらかといえばそう思う	80	39.2%
③ どちらかといえばそう思わない	41	20.1%
④ そう思わない	6	2.9%
計	204	100.0%
無回答	0	



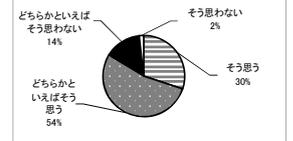
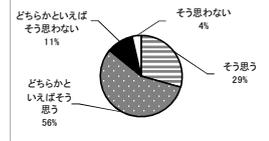
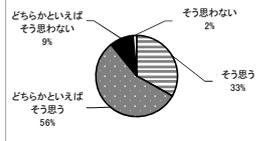
【自分に必要な知識やスキルを身につけることができた】

	度数	割合
① そう思う	98	48.2%
② どちらかといえばそう思う	101	49.8%
③ どちらかといえばそう思わない	2	1.0%
④ そう思わない	2	1.0%
計	203	100.0%
無回答	1	



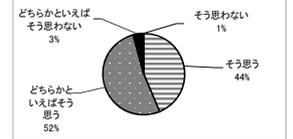
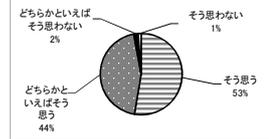
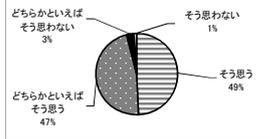
【業務や教育に対する意識や考え方が変わった】

	度数	割合
① そう思う	67	33.2%
② どちらかといえばそう思う	113	55.9%
③ どちらかといえばそう思わない	19	9.4%
④ そう思わない	3	1.5%
計	202	100.0%
無回答	2	



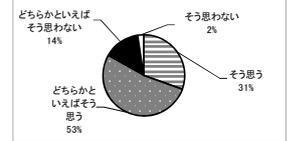
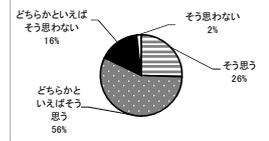
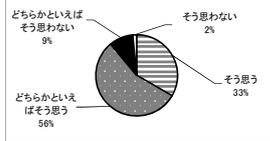
【業務や教育に積極的に取り組んでいきたいと思うようになった】

	度数	割合
① そう思う	99	49.2%
② どちらかといえばそう思う	94	46.8%
③ どちらかといえばそう思わない	6	3.0%
④ そう思わない	2	1.0%
計	201	100.0%
無回答	3	



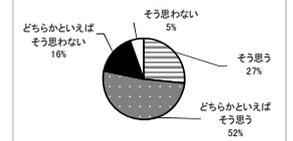
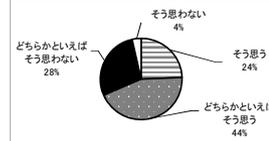
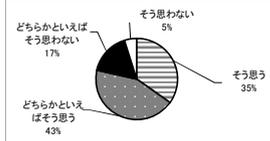
【フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や教育現場で実際に活用している】

	度数	割合
① そう思う	67	33.3%
② どちらかといえばそう思う	112	55.7%
③ どちらかといえばそう思わない	19	9.5%
④ そう思わない	3	1.5%
計	201	100.0%
無回答	3	



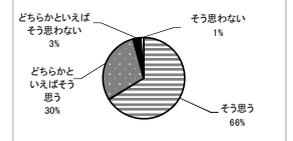
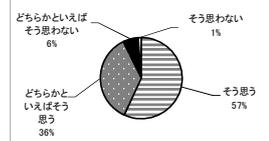
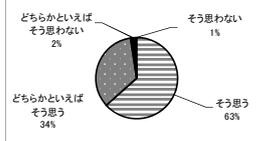
【フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や他の教員に伝達している】

	度数	割合
① そう思う	71	34.8%
② どちらかといえばそう思う	89	43.6%
③ どちらかといえばそう思わない	34	16.7%
④ そう思わない	10	4.9%
計	204	100.0%
無回答	0	



【今後もフォーラムをはじめ、SPODが提供するプログラムに参加したい】

	度数	割合
① そう思う	128	63.3%
② どちらかといえばそう思う	69	34.2%
③ どちらかといえばそう思わない	4	2.0%
④ そう思わない	1	0.5%
計	202	100.0%
無回答	2	



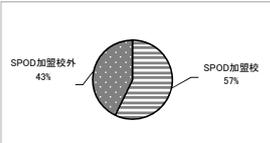
2. 感想、ご意見、ご要望等（別紙参照）

3. 参加者ご自身について

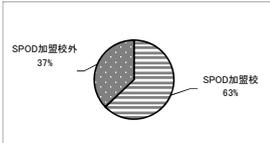
【所属先1】

	度数	割合
① SPOD加盟校	116	57.1%
② SPOD加盟校外	87	42.9%
計	203	100.0%
無回答	1	

SPODフォーラム2019(愛媛大学開催)



SPODフォーラム2018(香川大学開催)

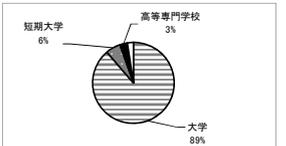
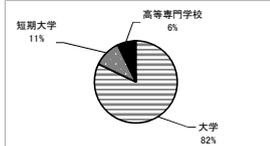
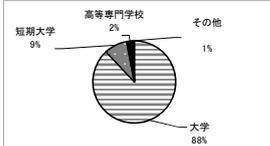


SPODフォーラム2017(徳島大学開催)



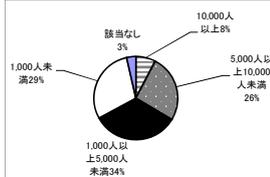
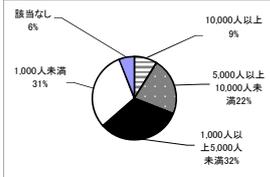
【所属先2】

	度数	割合
① 大学	177	88.0%
② 短期大学	18	9.0%
③ 高等専門学校	5	2.5%
④ その他	1	0.5%
計	201	100.0%
※その他: 空欄		
無回答	3	



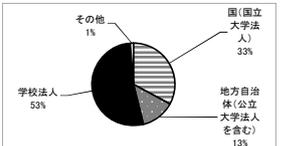
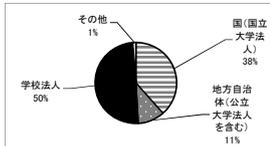
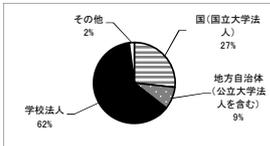
【所属先の学生数】

	度数	割合
① 10,000人以上	18	8.9%
② 5,000人以上10,000人未満	45	22.2%
③ 1,000人以上5,000人未満	66	32.5%
④ 1,000人未満	62	30.5%
⑤ 該当なし	12	5.9%
計	203	100.0%
無回答	1	



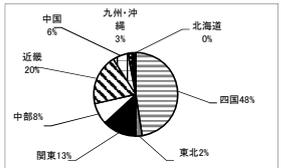
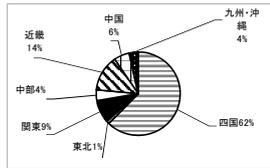
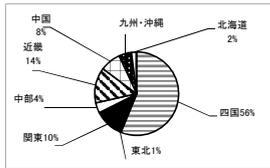
【所属先の設置者】

	度数	割合
① 国(国立大学法人)	54	26.7%
② 地方自治体(公立大学法人を含む)	18	8.9%
③ 学校法人	126	62.4%
④ その他	4	2.0%
計	202	100.0%
無回答	2	



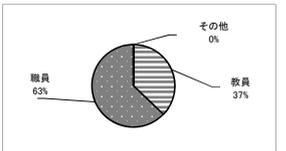
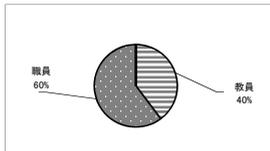
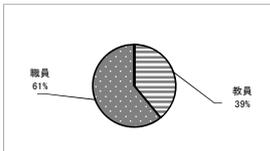
【所属先の所在地】

	度数	割合
① 四国	114	56.2%
② 東北	1	0.5%
③ 関東	22	10.8%
④ 中部	8	3.9%
⑤ 近畿	28	13.8%
⑥ 中国	16	7.9%
⑦ 九州・沖縄	10	4.9%
⑧ 北海道	4	2.0%
計	203	100.0%
無回答	1	



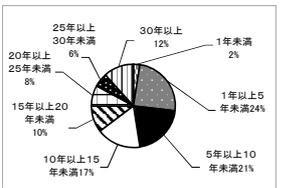
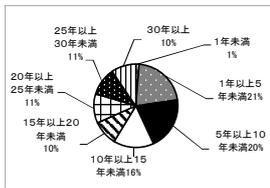
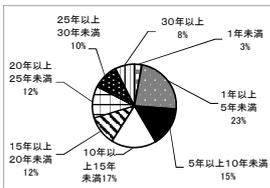
【職種】

	度数	割合
① 教員	79	39.1%
② 職員	123	60.9%
③ 学生	0	0.0%
④ その他	0	0.0%
計	202	100.0%
無回答	2	



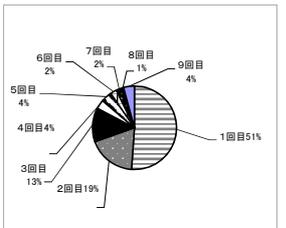
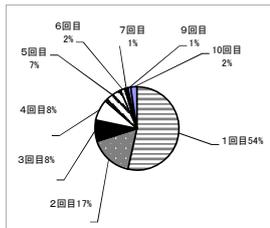
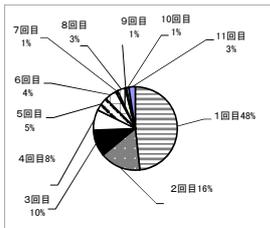
【大学教職員等の経年数】

	度数	割合
① 1年未満	6	3.0%
② 1年以上5年未満	47	23.3%
③ 5年以上10年未満	31	15.3%
④ 10年以上15年未満	35	17.3%
⑤ 15年以上20年未満	23	11.4%
⑥ 20年以上25年未満	25	12.4%
⑦ 25年以上30年未満	20	9.9%
⑧ 30年以上	15	7.4%
計	202	100.0%
無回答	2	



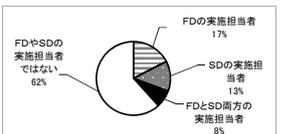
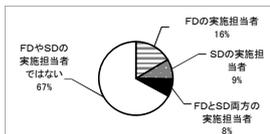
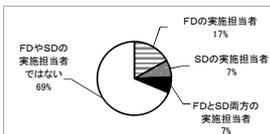
【SPODフォーラムへの参加回数】

	度数	割合
① 1回目	98	48.2%
② 2回目	32	15.8%
③ 3回目	21	10.3%
④ 4回目	16	7.9%
⑤ 5回目	11	5.4%
⑥ 6回目	9	4.4%
⑦ 7回目	2	1.0%
⑧ 8回目	6	3.0%
⑨ 9回目	1	0.5%
⑩ 10回目	2	1.0%
⑪ 11回目	5	2.5%
計	203	100.0%
無回答	1	



【あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？】

	度数	割合
① FDの実施担当者	34	16.8%
② SDの実施担当者	15	7.5%
③ FDとSD両方の実施担当者	14	7.0%
④ FDやSDの実施担当者ではない	138	68.7%
計	201	100.0%
無回答	3	



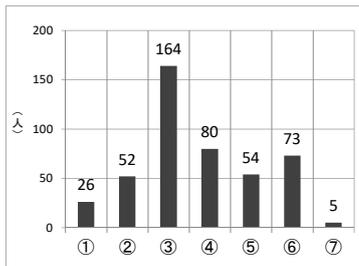
4. SPODフォーラムに参加した動機は何ですか？(複数選択可)

	度数	割合
① 過去の参加者に参加をすすめられたため	26	12.7%
② 上司に参加をすすめられたため	52	25.5%
③ 自分自身の能力開発のため	164	80.4%
④ 組織の課題を解決するヒントを得るため	80	39.2%
⑤ 組織を越えた人脈づくりのため	54	26.5%
⑥ FDやSDIに関する情報収集のため	73	35.8%
⑦ その他	5	2.5%
アンケート回答者数	204	

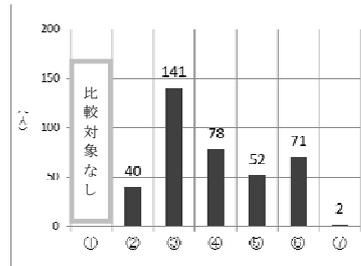
その他の記述内容

- ・ 過去に参加してよかったため 1
- ・ 後輩に参加を薦めるため 1
- ・ 授業改善 1
- ・ 義務 1
- ・ ポスターセッションで実践報告するため 1

SPODフォーラム2019(愛媛大学開催)



SPODフォーラム2018(香川大学開催) 回答者数:170



【SPODフォーラム2019】参加者からの要望等について

(●：SPOD加盟校内意見，○：SPOD加盟校外意見)
(コメント最後尾：教職員歴/フォーラム参加回数/教員 or 職員)

■開催時期・開催地について

- 所管課の関係の全国組織の研修会とSPODフォーラムの時期がバッティングすることが多いです。もう少し前倒しにして、8月のお盆明けくらいに思うのですが。(29年/8回目/職員)
- 開催日程は、今の8月下旬がベストだと思う。(15年/2回目/職員)
- 可能ならば8月の第3週目くらいがより有難いです。(17年/2回目/職員)
- 四国内で開催するならば、四県を順番に開催していただけると嬉しいです。(26年/3回目/職員)
- 関西で開催していただくと非常に有難いです。(3年/1回目/職員)
- 会場としては、愛媛大学は利便性が良いと思います。(20年/8回目/教員)
- 最終日の最終コマ終了後、会場から空港行きのバスがあったら便利だと思う。愛媛大学はバス乗り場まで少々距離があったので、事前申し込み制で最低人数に達したら実施など、是非検討してほしい。(9年/1回目/職員)

対応

- ・SPODフォーラムは、過去の実績に基づき、他の学会や研修会の日程にも配慮しつつ、教職員が最も参加しやすい夏期休業中（お盆明け）の平日に例年開催している。
- ・来年度は高知大学で8月26日（水）～28日（金）に開催する予定である。
- ・今後も四国4県での持ち回り開催を予定している。
- ・空港までのバス運行については、予算の制約があるため、実現は難しいのが現状である。

■会場について

- 大講義室でワークを行うことがあったので、その点は改善して頂きたい。シンポジウムの会場はもう少し人数にゆとりをもったほうが良いと思います。(15年/9回目/職員)
- 会場のキャパシティによりますが、グループワークを行う上で、もう少し広い教室の方がやりやすい。グループ間が隣接しすぎる感が否めない。(25年/1回目/教員)
- フォーラム会場が少し狭く感じた。(11年/1回目/職員)
- 従来より広い休憩スペース（3年/1回目/職員）
- 休憩スペースなどを充実するとコミュニティの広がりをより促進すると思われる。(2年/2回目/教員)
- 他大学の取り組み等の展示スペースに人が配置されていなかったのが、聞きたいことが聞けなかった。(14年/3回目/職員)
- 空調が少し寒かった。(20年/3回目/職員)

対応

- ・参加者が利用しやすい会場環境を作り出せるよう、各会場の広さや配置等を検討する。
- ・休憩スペースの広さ等については開催校によって事情が異なるが、できる限り対応していく。
- ・展示スペースでの質問については、問い合わせ先として各大学のSPOD事務担当者を掲載する等検討する。
- ・空調については、各会場の担当スタッフや見回りのスタッフが適宜確認しているが、会場の配置や密集度により気温も変化していくため、「羽織るものをご持参いただく等、ご自身で温度調整ができる服装をご準備ください」と、受講者への事前連絡の際にお知らせしている。

■当日のスケジュールについて

- 初日の開始時間 10 時は厳しいです。少し遠方だと前泊が必要になるので、もう少し遅いとありがたいです。(もしくは最終日にもう 1 コマ実施するなど。) 3 日間職場をあけるのに、前泊のため前日に職場を離れるのは厳しいです。(15 年/1 回目/職員)
- お昼の時間が 1 時間は少し短い印象を受けました。1 時限目の研修が少しでも押すと、お昼の時間が確保できないので、1.5 時間ほどあると余裕ができるかなと思いました。(2 年/1 回目/職員)

対応

- ・プログラム全体として、開始時刻や終了時刻、休憩時間を調整することは難しいのが現状であるが、県外からの移動時間も考慮し、各プログラムの内容に応じて開始時刻や終了時刻を調整するなど対応可能な部分がないか、引き続き検討していく。

■プログラムの申込みについて

- 申込時にもアンケートがありましたが、空席が埋まらないうちに回答しなければという思いがあり十分に答えられませんでした。(20 年/2 回目/教員)
- 連続シリーズの授業は、加盟校/非加盟校抜きに連続履修希望者を優先的に履修させて欲しい。(5 年/1 回目/教員)
- キャンセルの関係で難しいかもしれませんが、可能であれば受講人数をもう少し増やして頂ければ嬉しいですね。申し込みした際に定員に達していて、受講できなかったプログラムもいくつかありました。(3 年/1 回目/職員)
- 同時開催の他のセッションが受講できないことが大変残念でした。(13 年/1 回目/教員)
- 申し込み時点ですでに満席の講座もあり、希望していた講座の申し込みができませんでした。当日、受付でキャンセルが出ていると伺い、再度申し込みをお願いしましたが、結局受講できませんでした。キャンセルが出た場合の申し込み方法をより分かりやすくして頂けると有難いです。(29 年/2 回目/教員)
- 当日申し込みになってしまっていて、参加できるプログラムが少なかった。(5 年/1 回目/教員)

対応

- ・申込み時のアンケートについては、回答しやすいよう大部分を選択式としている。
- ・回答に時間を要すると考えられる記述式の項目（シンポジウムのパネリストへの質問事項、各プログラムに期待すること等）については、申込み時に入力欄を設けていることをシラバス等に記載するなどして、申し込み前に内容を考えてもらえるような方策を検討する。
- ・SPOD加盟校と加盟校外の区別なく連続履修希望者を優先することについては、両方で申込期間が異なること、当該プログラムのみ先着順ではなく個別対応が必要となること等の理由から、対応することが難しい。
- ・SPOD加盟校外の教職員の申込み期間を加盟校先行受付期間後としていること、また、参加費を講座単位ではなくフォーラム全体を通じての設定としていることから、SPOD加盟校外の教職員にも希望するプログラムをできるだけ受講していただけるよう、引き続き、同一時間帯に同系統のプログラムが重ならないような配慮や、定員設定の工夫を行う。
- ・早期に満席となったプログラムについては、講師と調整の上、可能な範囲で定員を増やす対応を行っている。今後も、申込み状況等により、柔軟に対応していく。
- ・キャンセルが出た場合の申込方法については、受講者への事前連絡に「全体受付会場でのみ行っている」旨記載している。

【参考】プログラム受講数（延べ人数／参加人数）

SPOD フォーラム 2019（愛媛）	全体 3.24	加盟校内 2.40	加盟校外 4.52
SPOD フォーラム 2018（香川）	全体 3.43	加盟校内 2.40	加盟校外 4.95
SPOD フォーラム 2017（徳島）	全体 3.53	加盟校内 2.36	加盟校外 4.99

■プログラムについて

【内容】

- 「アクティブラーニング」については、「初級」「中級」のように、教員歴の長い方・短い方という、対象者別の講座が必要かと思いました。(27年/8回目/教員)
- 「入門」や「基礎」など初参加者を対象とするものが多い。複数回参加したことがある人にとっても有意義なプログラムがあると良い。(10年/6回目/教員)
- 講座も続きものⅠ・Ⅱ・Ⅲ等, SPOD フォーラム中に集中して完結できる講座があっても良いのではないかと思います。(1年/1回目/職員)
- 毎年実施してるプログラムの中級編などがあるといいかなと思う講座もあるので、検討していただけると嬉しいです。(6年/3回目/職員)
- 各部署についての研修が更にあってもよかった。例えば、教務研修は基礎的内容であったので、ケースワーク中心のものであってもよかった。(11年/1回目/職員)
- もっと理工系（農とか医薬も含め）の視点を入れた授業を多くした方が良いと思います。(17年/1回目/教員)
- 理工系に関わるプログラムをもっと増やしてほしい(28年/1回目/教員)
- 教員と職員のコラボによるワークショップの実施(3年/1回目/教員)
- 貴重な時間なので、ワークショップより、より多くの知識や技術等を学内へ持ち帰りたい。講義主体の講座を増やしていただきたい。(20年/1回目/教員)
- 教員にとっては、具体的な教授方法に一番の関心が向くと思います。ただ、大学組織（事務方含む）全体に関わるようなテーマについては、講演形式で参加者全員が話を聞けるようにしてもいいのではないかと思います。(1年/1回目/教員)
- SPOD の真骨頂である実践知の共有等に特化したプログラムがあるとなお一層よかったと思う。(10年/3回目/職員)
- GW や作業を中心とした実践的な知を学べる講座が良いと思いました。(7年/1回目/職員)
- 参加者の多くは日頃から何らかの問題を抱えながら授業を行っている。この問題点を吸い上げ、最大公約数的なものについてディスカッションできる場がほしい。(16年/6回目/教員)
- 全体フォーラムより個別プログラムがもう1コマあってもいいのかなと思います。(11年/2回目/職員)
- 人気の講義は2コマ開講するなど工夫してもらえると嬉しいです。(5年/1回目/職員)
- なかなか四国に行くことが難しいので、遠隔地からも参加できるようなプログラムが欲しい。(4年/1回目/教員)

【講義時間】

- プログラムの内容に対して、講義の時間が短く、比較的どの講義も最後は駆け足で進めざるを得ないような状況になっていることが多いと感じます。限られた日数・時間数で運営をされているため、難しいとは思いますが、もう少し講義自体の時間が長めでもよいのではと思いました。(15年/8回目/職員)
- それぞれ2時間程度なので、入り口が浅い内容だったりスピードが早すぎたりなどの点が残念だと思います。(15年/3回目/職員)
- 一部のプログラムで、あらかじめ時間延長して行くと冒頭に伝達があるものがあつた。帰りの時間等の都合の関係もあると思うので、その点はより明確にすることが望ましいと感じた。(10年/3回目/職員)

【その他】

- 事前課題をしていたのに、(やってきた先生が半数程度だったからでしょうか)それに費やす時間もとても少なく、残念でした。(20年/4回目/その他)
- 宿題が出ていたのでしていきましたが使用することがなく、何のために?と思うこともありました。(5年/1回目/職員)
- あるプログラムを受講した。私は事務担当であるが、内容は授業の方法ばかりで全然事務の対応の仕方をしてくれなかったの、対象をFDと記載してほしい。(8年/4回目/職員)

対応

- ・本フォーラムは、新規プログラムを織り交ぜながら、ニーズの高いプログラム（アンケート参考）については複数年での連続開講を試みる等、「参加者が数年かけて一通りのプログラムを受講する」ことを想定したプログラム構成となるよう配慮し、2009年から四国4県の持ち回りで毎年開催している（※フォーラム参加回数3回以上：36%）。今後もこの方針を基本とした上で、その年のプログラム検討を行う際は、プログラム時間やプログラム数を確保する方法及び同一時間帯に同一のテーマや受講対象者、新規プログラムが重ならないようなプログラム構成等について、講師や会場の都合も含めた全体的な調整を行っていく。
- ・各プログラムは基本的に2時間構成としているが、プログラムによって時間配分の変更の有無を今後検討する。
- ・講師には、終了時刻の超過に気を付けていただくよう引き続き注意を促していく。また、やむを得ず時間を超過するプログラムについては、事前に講師から事務局へ必ずご相談いただき、前もって受講者へ伝える等、対応を検討する。
- ・事前課題の有無については講師の判断となるが、講義内で触れない課題を出す場合は、その旨を受講者へ説明する等、対応いただく。
- ・SPODでは、大学設置基準等の一部改正に伴い、SPODにおけるFD/SDの定義の見直しを行っており（<https://www.spod.ehime-u.ac.jp/spod/page-4/>）、SPODフォーラムにおいても、これに準じて対象者の表記を工夫している。
その上で、講師にシラバスを検討いただく際に、講義の内容（主に教員対象 or 職員対象等）を踏まえて、「主な受講対象」欄を記載していただくよう依頼する。

■ポスターセッションについて

- ポスターは時間外にも見ていただくことができますが、さすがに常時そこに待機していることはできません。しかし、何かコメントがいただければありがたいと思います。そこで、例えば大きめの付箋を用意してコメントを貼るとか、QRコードでgoogle formなどにアクセスしてコメントを送るとかいったことが可能になると、より収穫が大きい気がいたします。（20年/2回目/教員）

対応

- ・時間外に閲覧者からの質問がある場合に、「質問の問い合わせ先」等を各ポスター発表者で掲示するなどの対応をいただく等検討する。

■運営について

- 事前提出の締め切り連絡が遅い。お盆休み等が入る時に8月頭の週だった。せめて7月中には連絡が欲しい。（30年/2回目/職員）
- 夏休みということもあり、朝ご飯、昼ご飯を食べるところをかなり探しました。（4年/1回目/職員）
- 会場が少々分かりにくかったです。案内の方の説明が丁寧でよく分かりましたが、表示がもう少しあっても良いかなと思いました。（33年/7回目/教員）
- 事務局が大変になるかもしれないが、ワークショップは以前あった方と同じグループにならない仕掛けが欲しい。（毎回参加されている方が多い印象を受ける）（3年/4回目/教員）
- 鉛筆やシャープペンを持参しなかったため、アンケートのマークシートを塗るのに手間がかかりました。周囲には○をつけているだけの方もいらっしゃいましたので、鉛筆をご用意いただいていたかと思いました。（20年/2回目/教員）

対応

- ・事前課題のあるプログラムについては、受講者が確定する二次受付（8月上旬）後に受講者へ一斉に送付しているため変更は難しいが、可能な限り早く送付できるよう対応を検討していく。
- ・大学周辺のランチマップについては、現在SPODホームページのフォーラム概要ページへ事前に掲載、また当日全体受付での配付を行っているが、開店前の時間帯に利用したい受講者もいたため、フォーラム時のみ学内お食事処の営業時間を延長が可能かどうかも含め、今後検討する。
- ・例年、各開催校で建物内や屋外に案内掲示を設置しているが、全体受付会場付近に大きい会場案内図を準備する等、より分かりやすい案内になるよう掲示場所や掲示内容を工夫する。
- ・グループ分けについては事前に各講師に確認しているが、講師からの指定がない場合は、「着席時のお願い」として、同じ所属でない方、初対面の方と同じグループになるよう着席していただくよう講義開始前に投影している。
- ・アンケートの回答方法については、鉛筆やシャーペンの他、ボールペンも使用可能である旨アンケート記載している。また、各会場の受付に予備の鉛筆を置いており、必要な場合は貸し出しも行っている。これらがより参加者に伝わるよう、会場担当者用マニュアル等の見直しを行う。

《開講してほしいプログラムについて》

AL (アクティブ・ラーニング)

- ・ Adaptive Learning や EdTech の活用といった事例について
- ・ ソフトなアクティブラーニング授業やテクニック (他の学生とのディスカッションは苦手という学生がいる場合対策として)
- ・ アクティブラーニングにおけるフリーライダー対策について

IR (Institutional Research)

- ・ IRに関するプログラム
- ・ 学修成果の可視化にかかるプログラム
- ・ 可視化システムの情報や実例を共有できるようなプログラム

TP (ティーチング・ポートフォリオ)

- ・ TPの概説や活用方法, 事例紹介について
- ・ TPに関連するプログラム
- ・ TPの作成について

理工系プログラム

- ・ 理工系に関わるプログラム
- ・ 理工系 (農とか医薬も含む) の視点を入れたプログラム

デザイン

- ・ デザイン思考で授業を設計するプログラム
- ・ 掲示のデザインの作成について

学習評価

- ・ 基本的な学習評価やカリキュラムに関するプログラム
- ・ カリキュラムマネジメントに関するプログラム
- ・ カリキュラム改善に関する (今までの事例をもとに成功例や失敗例などを紹介し, 成功例のノウハウを知ることができる) プログラム

授業設計・授業改善等

- ・ 個人が行っている授業改善の方法の具体例を多く紹介してくれるような研修
- ・ 授業時間以外の宿題や調査なども含め, 全体で学習の効果を生むにはどうすればよいか考えるプログラム
- ・ 初年次教育に関するプログラム
- ・ 学生にやる気を起こさせる方法や授業設計に関するプログラム
- ・ 理系向け「積極的な学生を増やす」というような, 「やる気が感じられない」学生のモチベーションを上げる方法

学生支援・学生対応

- ・ 事務職員ができる学修支援について (窓口対応・履修指導)
- ・ 教務関係の実践的知識の修得・共有できるプログラム
- ・ 学生のラーニング・ポートフォリオ事例について
- ・ 学生向けのポートフォリオについて
- ・ リメディアル教育に関するプログラム
- ・ 大学における学生のフォロー体制 (学習面, 精神面, 生活面) について
- ・ 学部で業務をする職員 (いわゆる学部事務) へのSD (カリキュラム等の学習支援, 教育支援の観点から)
- ・ 学費の延納相談, 督促対応について

学生支援・学生対応（障がい学生）

- ・発達障がいの学生に対する指導や知識に関するプログラム
- ・FD系の「障がい者への対応，さぼりと障がいの見極め方」
- ・アスペルガー等の学生の対処法やグループ活動で気を付けることについて
- ・グループ活動ができない学生が存在する場合のグループ活動の進め方について
- ・発達障がいや疑いのある学生の対応方法に関するプログラム
（事務の窓口に来た際，奨学金などの提出書類を遅延した際，寮生活など）
- ・各種の障がいを持つ人に対する対応について

アンガーマネジメント

- ・アンガーマネジメントに関するプログラム
- ・自分自身の怒りをうまく逃がす方法について
- ・自身の感情をコントロールする方法について
- ・学生・教職員たちがカッとなった時のメカニズム～理解～対処方法について

コミュニケーション

- ・対人コミュニケーションについて
- ・良好なコミュニケーションの取り方について
- ・コミュニケーションが苦手な学生へのアプローチ（指導方法）
- ・学生の接し方について
- ・インプロについて

ハラスメント

- ・いろいろなハラスメントへの対応方法について
- ・スメルハラスメント（体臭，口臭，香水など本人は気付いていない場合の対応方法）
- ・ハラスメント（教職員どちらも聞けるSDプログラム）

人材育成

- ・カリキュラムコーディネーター養成について
- ・職員の能力開発（研修の企画立案，人事評価制度の企画立案など）
- ・職員のリーダーシップ開発プログラム
- ・ボスマネジメントに関するプログラム
- ・成人発達理論
- ・U理論について

働き方改革

- ・働き方改革とそれに反する自身の気持ちのズレを払拭するようなSDプログラム
- ・「働き方改革」を絡めた人材マネジメント的な研修プログラム
- ・大学職員としての働き方と権利について学ぶプログラム

法規

- ・改革総合支援事業申請関係プログラム
- ・大学設置基準について
- ・認証評価について
- ・大学関連法規（教員も職員もどちらも聞けるSD）
- ・中期計画の策定について
- ・中長期計画の評価について
- ・政策レベルの事柄を具体的方法に落とし込めるようなプログラム
- ・文部科学省の動向が分かるプログラム

大学広報

- ・ 広報関係のプログラム
- ・ プレスリリースの作成方法等のプログラム（実用編）
- ・ 大学が抱える問題点について（広報活動や大学案内の作成方法等）

その他（レベル別）

- ・ 毎年実施しているプログラムの【中級編】
- ・ アクティブ・ラーニング【初級】【中級】
- ・ 設置認可申請に関するプログラム【発展編】
- ・ 教員免許事務【基礎編】
- ・ 教務事務関連法規の考え方【初級】【中級】【上級】
- ・ 複数年参加者対象のプログラム（【入門】【基礎】など、初参加者対象プログラムが多いため）
- ・ 多様な学生に対応するためのプログラム【初級】【中級】（教員・職員）
- ・ フォーラム中に集中して完結できるプログラム（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲなど）

その他（研修の形態等）

- ・ 事務職員も参加できるFD関係のプログラム
- ・ 若手から中堅事務職員が気軽に受講できるプログラムの増加
- ・ 教員と職員のコラボによるワークショップ
- ・ 教員も職員もどちらも聞けるSDプログラム（大学組織論）
- ・ 係長～課長補佐をターゲットとしたプログラム（部下育成，組織改善）
- ・ あるプログラムを受講したところ，授業の方法ばかりの内容だった（事務の対応方法を教えてもらえると思い受講した）ので，対象を「FD」と記載してほしかった。

その他

- ・ SNS対応について
- ・ 会議開催を円滑に進めていくためのSDプログラム
- ・ 学生アンケート（特にweb等を利用した）の回収率を向上する方法について
- ・ 教員にFDをしてもらう方法（職員としてできること）
- ・ 内部質保証に関するプログラム
- ・ 具体的な業務改善について
- ・ 仕事上のモチベーションが上がるプログラム
- ・ 実践知の共有等に特化したプログラム
- ・ 経営者の視点で考える大学職員の在り方
- ・ 人事評価について
- ・ 研修制度について
- ・ 財務関係について
- ・ 高大接続
- ・ 大学院業務について
- ・ 研究室運営・卒論指導に関するプログラム
- ・ 就職支援に関する研修プログラム
- ・ リカレント教育について
- ・ 海外の大学事情について
- ・ 2019と同じプログラム（同時間帯に受講できなかったプログラムがあるため）
- ・ 2019 満席プログラムの再開講
- ・ 複数回参加したことがある人にとっても有意義なプログラム